

広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤



多くの病害に対して
優れた予防効果。



適用作物が多く使いやすい。
従来の薬剤と異なる作用性を有するため、
各種薬剤耐性菌に対しても有効。



[広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤]

ペルクート®

水和剤

農林水産省登録 第18821号

有効成分:イミノクタジンアルペシル酸塩…40.0%

殺菌剤分類 M7

人畜毒性:普通物

(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■適用病害と使用方法

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びイミノクタジンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	イミノクタジン	
りんご	黒星病、斑点落葉病	1,000~2,000	200~700	前日	6回	8回	散 布
	輪紋病、褐斑病、すす点病、すす斑病	1,000~1,500			(開花期以降 散布は3回)	(液剤及び水和剤は合計 6回(開花期以降は3回) 塗布剤は2回)	
	黒点病、うどんこ病	1,000		14日	5回	5回	
	黄腐病、モニリア病	1,000			(塗布剤は2回、液剤は1回)	3回	
	黒斑病、黒星病、輪紋病、うどんこ病	1,000~1,500		前日	3回	3回	
	黒星病	2,000			2回	2回	
	灰星病、ホモブシス腐敗病、うどんこ病	1,000~2,000			14日	3回	
	すすかび病、果実赤点病	2,000			前日	5回	
	うどんこ病	3,000			14日	2回	
	炭疽病、落葉病、うどんこ病	1,000~1,500		30日	3回	3回	
	灰色かび病、すす点病、黒星病	1,000			3日	3回	
	果実軟腐病、灰色かび病	1,000			7日	7回	
もも	貯蔵病害(緑かび病、青かび病)	2,000		前日	14日	4回	無人航空機による散布
	うどんこ病	3,000			前日	5回	
	炭疽病	1,000			7日	5回	
	黒星病、灰星病、灰色かび病、すす斑病	2,000		100~300	前日	4回	
	環紋葉枯病	2,000			7日	4回	
	黒星病、灰星病、灰色かび病、すす斑病、環紋葉枯病、枝枯病	1,000			前日	7回	
	灰星病	1,000			3日	5回	
	びわ	10			前日	3回	
	灰斑病、灰色かび病	4			7日	3回	
	菌核病	1,000			14日	5回	
	うどんこ病、つる枯病、菌核病、炭疽病	1,000			前日	5回	
	メロン	うどんこ病、つる枯病			7日	5回	
	かぼちゃ	1,000~2,000			前日	4回	
	ズッキー	2,000			7日	4回	
きゅうり	褐斑病	1,000~2,000		100~500	前日	7回	
	うどんこ病、灰色かび病、炭疽病	2,000~4,000			3日	5回	
	うどんこ病、つる枯病、炭疽病	3,000			前日	3回	
	アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病			7日	5回	
	たまねぎ	1,000			前日	5回	
	ねぎ	2,000			30日	3回	
	にんにく	葉枯病			3日	3回	
	にんじん	1,000			14日	5回	
	黒葉枯病	500~1,000			前日(生育期)	5回	
	トマト	—			7日	5回	
	ミニトマト	乾燥種子重量の0.5%			は種前	1回	
	レタス	葉かび病、灰色かび病			前日	3回	
	いちご	6,000			14日	2回	
豆類(種実、たたし、だいさく除く)	灰色かび病、菌核病	1,000~2,000		100~300	育苗期(定植前)	5回	散 布
	炭疽病、うどんこ病	1,000			前日(生育期)	5回	
	うどんこ病	4,000			7日	3回	
	うどんこ病、炭疽病、褐斑病	1,000			前日	3回	
	ばれいしょ	500			7日	5回	
	やまのいも	葉渋病			前日	5回	
	青かび病	1,000~2,000			7日	5回	
	茶	—			植付前	1回	
	たばこ	炭疽病、輪斑病、新梢枯死症(輪斑病菌による)			(摘採) 7日	1回	
	樹木類	1,000			2回	2回	
	木	赤星病、うどんこ病、灰色かび病	1,000~2,000		10日	10日	
	類	1,000	200~700		発病初期	3回	

△効果・薬害等の注意

- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - ①散布機種の散布基準に従って行ってください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中に薬液の漏洩がないよう事前に機体の散布配管その他の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、速やかに使いきってください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- ヤバエに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。

△安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合に

は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。

●本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。

●使用の際は、保護メガネ、農薬用マスク、不透湿性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域内に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物への影響:水産動植物(藻類)に影響を及ぼすものがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液を生じないよう調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管:密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷蔵・乾燥した所に保管してください。

※本資料は2025年12月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ農協
JA農業連合会
JA全農
JAは登録商標 第4702318号

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社: 〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumaii-chem.co.jp>

2561(26-1)



詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。